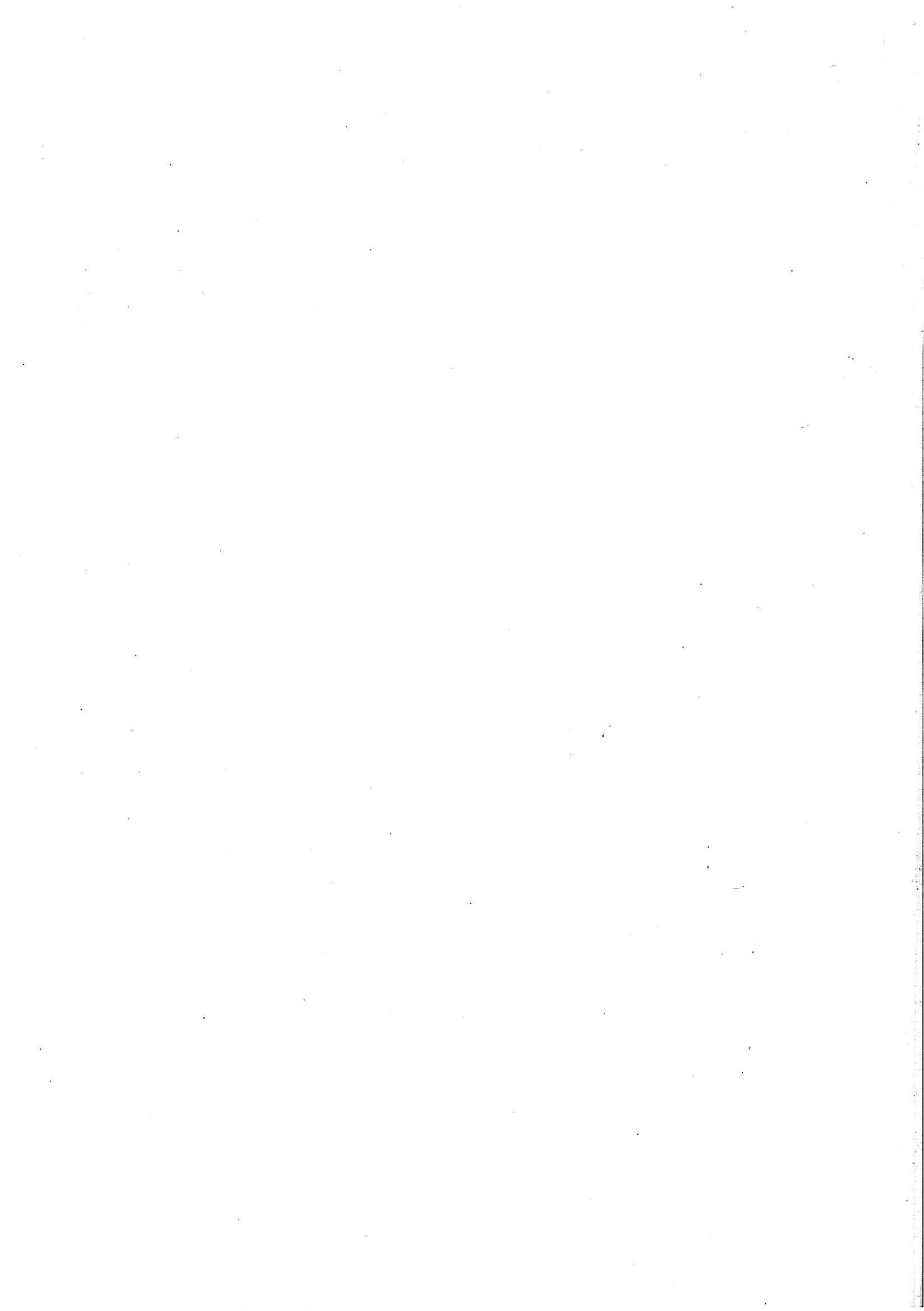


LINN KAIRN
OWNERS MANUAL



MUSIC FOR LIFE

音楽 それは快適な生活のために

音楽は生活を豊かにしてくれます。

しかしそれは、生で聴く演奏や、きわめて高いクオリティで

再生された音楽だけが持っている力です。

そして優れた HI-FI は、様々な音楽の感動、

喜びに触れる機会をふやしてくれます。

LINN HI-FI を通して、生活をもっと快適に、豊かにしてくれる、

たくさんの素晴らしい音楽と出会っていただければ…。

それが私たちの願いです。

LINN KAIRN PREAMPLIFIER

プリアンプ、KAIRN(ケルン)はリンの高い技術力により、優れた音楽再生能力と、簡単な操作性を実現しています。

切替えスイッチ及びボリュームは、マイクロプロセッサでコントロールされ、リモートコントロールですべてが操作できるよう設計されています。もちろん、フロントパネルによる操作も可能です。

再生ソース、録音ソース、ボリューム、バランス、モノラル再生、シューティング状態等を表示するためのディスプレイは、LEDにより、すっきりとわかりやすく表示されます。

KARIN は、7組の入力端子、3組の出力端子を持っていますので、多くの入力ソースを接続していただける上、バイアンプ、トライアンプ駆動方式にまで幅広く対応可能です。

目次

1.	はじめに	2
	a. 内容物	2
2.	設置と接続	3
	a. 入力端子	3
	b. 出力端子	4
	c. 付属品の接続	4
3.	操作	6
	a. 再生	6
	b. 音量調節	7
	c. 音量バランスの調節	7
	d. 再生ソースの変更	8
	e. 録音ソースの変更	9
	f. ミュート（消音）	9
	g. モノラルのソースの再生	10
	h. レコードロック	10
4.	便利な機能	11
	a. ユーザー機能	11
	b. 音量補正機能	14
5.	お手入れ	15
6.	一般的なシステムのセッティング	16
7.	仕様	17
8.	保証とサービス	18

1. はじめに (電源を入れる前に)

a. 内容物

KAIRN プリアンプ 本体

リモコン (このリモコンは他の LINN 製品の操作も行えます)

取扱説明書

電源コード

スペアヒューズ

RCAピンコード 1ペア

他の製品同様、KAIRN は高性能の入力ソースと併用することにより、より優れた再生を可能にします。レコードプレーヤー、CDプレーヤー、チューナーの音質が良ければ良いほどより音楽をお楽しみいただけるのです。

(開封の際、箱は、大切に保管しておいて下さい。)

KAIRN は入力信号に対して逆相で出力するプリアンプです。そのため、パワーアンプの出力側あるいは、スピーカーの入力信号側のどちらか一方において+、-を入れ換えて結線をしてください。

※ できるだけアースをお取り下さい。

詳細は、販売店にお任せ下さい。

2. 設置と接続

a. 入力端子

KAIRN の全ての端子はRCAピンコードが使用されていますので一般的なCDプレーヤー、チューナー、DAT、MDプレーヤー等を簡単に接続していただけます。また KAIRN には他の入力ソースもしくはパワーアンプと KAIRN を接続するための高品質のケーブルが1ペア付属しています。

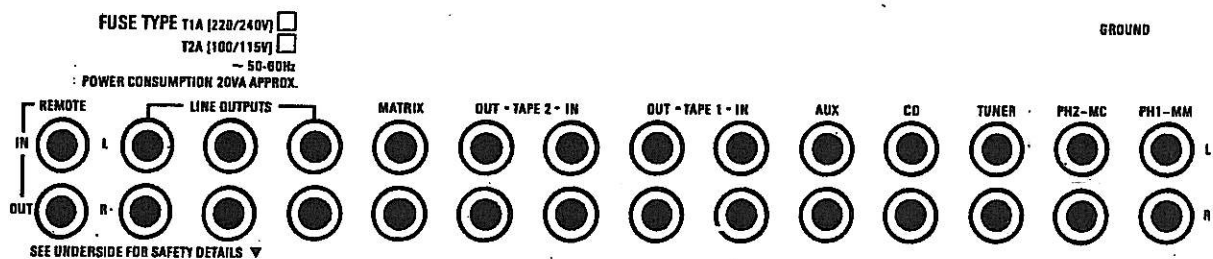
注意 ケーブル類の接続は必ず電源を切ってから行ってください。

1) レコードプレーヤーの接続

(KAIRN-PRO にはこの端子はありません)

KAIRN はMM用端子と、MC用端子をそれぞれ持っています。お使いのカートリッジをご確認の上、MMカートリッジをお使いの場合 Ph1 端子に、MCカートリッジをお使いの場合 Ph2 端子に接続してください。

また、Ph1、Ph2 端子の真上にアース端子がありますのでプレーヤーからのアース線をしっかりと接続してください。



2) チューナー/CD/AUXとの接続

TUNER、CD、AUX端子は一般的なラインレベル入力端子ですので、LDプレーヤー、DATデッキ、ビデオ、MDプレーヤー等を接続する際にもご利用いただけます。左右お間違えのないように接続してください。

3) テープデッキとの接続

KAIRN には2台までテープデッキを接続できます。テープデッキの再生 (PLAY) 端子と KAIRN の TAPE IN 端子をテープデッキの録音 (RECORD) 端子と KAIRN の TAPE OUT 端子をそれぞれ接続してください。なお、TAPE1 OUT 端子と TAPE2 OUT 端子は同じ音が出力されます。

b. 出力端子

KAIRNは最高3台のパワーアンプへの出力を可能にする、3つのステレオライン出力端子を備えています。

ラインアウトプットに、インターコネクトコードを用いて、パワーアンプのインプットに、左右正しく接続してください。

注意 リンのLK280 パワーアンプをご使用の際には、LK280 用プラグが正しく付けられたケーブルであることを事前に確認の上差し込んでください。

c. 付属品の接続

1) マトリックス

(KAIRN-PRO にはこの端子はありません)

KAIRNをフォノイコライザーとしてお使いいただくためのラインレベルアウトプットです。KAIRN は、高音質MCフォノイコライザー回路・MMフォノイコライザー回路を搭載していますので、お持ちのプリアンプ、またカセット、DAT、MDと接続して、多目的にお使い頂けます。

2) リモート 入力/出力

リン製品についている **REMOTE** 端子はリンのマルチルームシステム、**KNEKT SYSTEM** に対応するための端子です。くわしくはリン販売員におたずね下さい。

また、**KAIRN** をリン **KLOUT** パワーアンプと共にお使いいただいている方は **KAIRN** の **REMOTE IN** 端子と **KLOUT** の **REMOTE OUT** 端子を接続していただき、**KLOUT** の電源スイッチを下側に倒して頂きますと、**KAIRN** 電源投入時に自動的に **KLOUT** の電源が立ち上げることが可能です。

3.操作

KAIRN は本体リモコン、パネルのどちらでも操作できますがリモコンの方がより簡単に操作していただけます。リモコンによる操作は本体パネルと基本的に同様です。

リモコン: KAIRN に付属しているリモコンは、リンの全製品を操作できるように出来ています。KAIRN をお買い上げの方はリモコンのプリアンブセクションをお使い下さい。

a. 再生

1) 電源を入れる

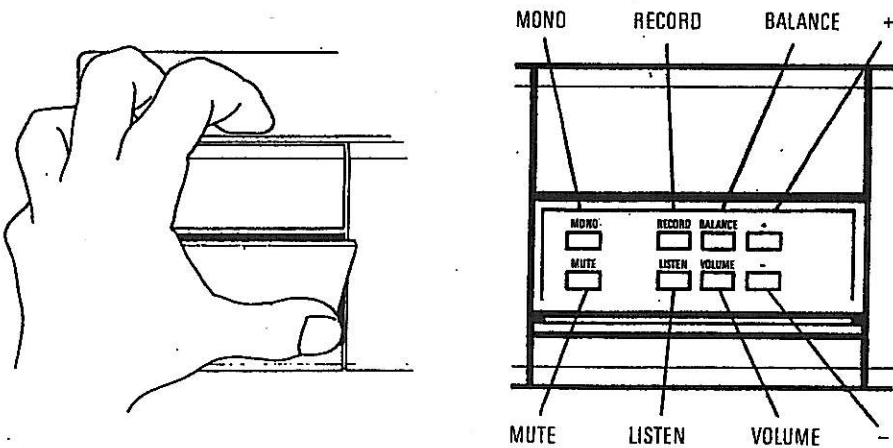
本体の POWER ボタンを押す。

ボタンのすぐとなりの緑色のランプが直ちに点灯し、その後本体左側のディスプレイが、最後に操作されたモードで表示します。(所要時間は1、2秒) ディスプレイが2本線のみしか表示しない場合は、本体のドアを開いてください。

注意 再生終了後、20秒するとディスプレイがオフの状態(2本線を表示)に変わります。(常時ディスプレイを点灯させたままにもできます。ユーザー機能の頁をご覧ください。)

2) 電源を切る

もう一度 POWER ボタンを押す。



b. 音量調節

1) 現在の音量を知るには

黄色の **VOL+**、もしくは **VOL-** ボタンを押してください。

ディスプレイ右側に **VOLUME** の文字、中央に0から100までの数字が表示されます。

デシベル表示も可能です。詳しくはユーザー機能をごらんください。

2) ボリューム変更

VOL +、**VOL -**のボタンで行ってください。

軽く1回押すと1ステップ変わります。

押し続けると連続して調節できます。

ミュート時にこのボタンを押しますと、ミュート状態が解除されます。

本体パネル操作: **VOLUME** ボタンを押した後、**+**、**-**ボタンで調節してください。

c. 音量バランスの調節

1) 左右の音量バランスを知るには

BAL L、**BAL R** ボタンを押してください。

ディスプレイ右側に **BALANCE** の文字と中央に0から30までの数字が表示されます。

バランスが偏っている場合には数字の下に矢印が表示されます。

(0が表示されていますとセンターの状態です。)

本体パネル操作: **BALANCE** ボタンを押してください。

2) 左右のバランスを調節

BAL L、R ボタンを押すことにより行います。

軽く1回押すと、1ステップ変わります。

センター復帰する際には、0ボタンを押してください。

本体パネル操作: BALANCE ボタンを押した後、+、-ボタンで調節してください。

センターへ復帰するときはもう一度、BALANCE ボタンを押してください。

注意 左右バランスは、各入力ソースに対して独立して設定出来ます。他の入力ソースに切替えますとその入力に設定された左右バランスに設定されます。

d. 再生ソースの変更

1) 再生ソースの確認

LISTEN ボタンを押してください。

ディスプレイに LISTEN の文字と選択されているソース名が表示されます。

2) 再生ソースの選択

お望みのソースのボタンを押してください。

本体パネル操作: LISTEN ボタンを押した後+、-のボタンを押して行って下さい。

再生ソースがPh1、Ph2、tun、Cd、Au、tp1、tp2、の順に切り替わります。(KAIRN-PRO にはPhはありません)

(Ph1、Ph2については「ユーザー機能」の欄をごらん下さい。)

e. 録音ソースの変更

1) 録音中のソース確認

RECORD (レコード) ボタンを押して下さい。

ディスプレイに **RECORD** の文字が表示され、録音ソース名が表示されます。録音ソースは **tp1**、**tp2** 双方に出力されます。ソース表示がない場合は、無録音状態です。

2) ソース選択

REC ボタンを押し、ディスプレイ表示が変更したら、10秒以内に録音したいソースのボタンをご選択ください

本体パネル操作: **RECORD** ボタンを押した後+、-ボタンを使用して下さい。
7種類の選択可能なソース以外に無選択という8つめのパターンも選ぶことができます。

注意 **Ph1** を録音しながら、**Ph2** を聴くことは出来ません。

例) **Ph2** が再生ソースとして選択された状態で **Ph1** が録音ソースとして選択されると自動的に再生ソースが **Ph1** に変更されます。

(逆の場合も同様です。)

このモードは10秒以上操作がない場合には、自動的に **LISTEN** (再生) モードに切り替わります。

録音解除: リモコンの **REC** ボタンを押し、続けて **0** ボタンを押します。

f. ミュート (無音状態) 選択

1) ミュートする

MUTE ボタンを押します。

音量表示が **0** になります。また、**LISTEN** 表示を選んでいるときは、表示が暗くなります。

2) ミュートを解除する

A) もう一度 **MUTE** ボタンを押す。

B) 音量、左右バランス、再生ソースボタンを押す。

ミュート解除中に+、-ボタンのいずれかを押しますと、その時点の音量で止まります。(但し、**VOLUME** モード時に限ります。)

g. モノラルのソースの再生

1) モノラル再生にするには

MONO ボタンを押します。

MONO インジケーターが点灯しモノラル動作をします

2) モノラル再生を解除する（ステレオ再生に戻る）

再び MONO ボタンを押します

本体パネル操作：MONO の印字ボタンを押します

注意 モノラル再生の設定は各入力ソースごとに、独立して行えます。新しいソースが選択されると、その入力ソースで最後に設定されたモノ／ステレオ再生が選択されます。

h. レコードロック

テープに録音する際、入力ソースが誤動作により切り替わってしまうのを防止するための機能です。

1) レコードロックをするには

1 RECORD ボタンを押した後、リモコンもしくはフロントパネルのボタンにより録音したいソースを御選択下さい。

2 RECORD ボタンをディスプレイが LOC 表示になるまで押してください。

3 ソースがロックされ切り替えのできない状態になります。

2) レコードロックを解除するには

1 RECORD ボタンを押してレコードモードに切り替えます

2 ディスプレイが UNLOC を表示するまで RECORD ボタンを押しつづけてください

3 ロックは解除され、ソースの変更が可能になります

4. 便利な機能

a. ユーザー機能

KAIRN の操作およびディスプレイの表示をお客様にあわせて設定できます。

1) 設定

ユーザーファンクションモードを選択して下さい。

まず、KAIRN の電源を切り、本体の **MONO** もしくは **MUTE** のボタンを押しつつ、電源を入れて下さい。しばらくすると、ディスプレイは **U** を表示します。ディスプレイが **U1** を表示するまでボタンを押し続けて下さい。

ユーザー機能番号を変更する際には、**MONO** もしくは、**MUTE** ボタンを押して下さい。ユーザー機能は **U1**、**U2**、…**U6** のように表示されます。それぞれのユーザー機能番号は次頁の機能をあらわします。

ファンクションの変更にはリモコンの **VOL+**、**VOL-** ボタン（もしくは本体の **+**、**-** ボタン）を押して下さい。

2) 設定の終了

本体の **RECORD**、**LISTEN**、**BALANCE**、**VOLUME** ボタンもしくは、リモコンの **REC**、**LISTEN** のボタンのいずれかを押して下さい。もしくは最後の操作から **20** 秒経てば、自動的に終了します。

3) 設定の解除

設定したユーザー機能を工場出荷時の状態に解除するには

- 1) KAIRN の電源を切る
- 2) KAIRN の **-** (マイナス) ボタンを押さえたままで、電源を **ON** にする。
- 3) ディスプレイの表示が **INIT** になったら、電源ボタンを離す。
- 4) すべてのユーザー機能の設定が **0** になる。

4) ユーザー機能表 出荷時には、すべて0に設定されています。

U1 ユーザー機能1

最後のボタン操作から20秒後のディスプレイ表示選択

- 0 20秒後にOFF (オフ) になり二本の横棒が表示されます
- 1 20秒経過後も表示し続けます

U2 ユーザー機能2

最後のボタン操作から20秒後のモード設定

- 0 現在のモードが維持されます
- 1 20秒後にVOLUME (ボリューム) モードに切り替わります
- 2 20秒後にBALANCE (バランス) モードに切り替わります
- 3 20秒後にLISTEN (リッスン) モードに切り替わります

U3 ユーザー機能3

ミュート時のボリューム変化及びバランスのセンター復帰の設定

- 0 音量およびバランスがフェードして (なだらかに) 変化します
- 1 音量およびバランスがステップで (瞬時に) 変化します

U4 ユーザー機能4

音量表示の選択

- 0 音量レベル表示 (0~100)
- 1 音量デシベル表示 (-99.9~0dB)

U5 ユーザー機能5

音量、左右バランス、モノ/ステレオ設定のメモリー

- 0 各入力ソースに対して、個別にメモリーします
 - 1 入力ソースを切り替えても現在の設定を維持できます
- *音量補正機能 (p.14) はU5が0のときのみ可能

U6 ユーザー機能6

- 0 Ph1、Ph2 共に選択できます
- 1 Ph1 だけを選択でき、Ph2 はキャンセルされます
- 2 Ph2 だけを選択でき、Ph1 はキャンセルされます

U7 ユーザー機能7

KAIRNはKAIRNの受光部が受信した他製品の信号をREMOTE OUT 端子から出力することができますので、KREMLIN、KARIK等のREMOTE IN 端子と接続して頂ければ、見えない所の他製品をも操作することが出来ます。

- KAIRN の受光した信号をREMOTE OUT 端子から出力する
- 1 KAIRN の受光した信号をREMOTE OUT 端子から出力しない

U8 ユーザー機能8

電源再投入時の入力ソース、ボリュームのメモリー機能

- 最後に電源を切ったときの状態を維持します
- 1 入力ソースのみ維持し、VOLUME を50に変更します
- 2 設定値で常に立ち上がります

〈設定方法〉

- a) 設定したい入力ソースと音量にあわせて電源を切る
- b) 本体の MONO もしくは MUTE ボタンを押しながら電源を入れる
- c) U8を2に変更する

U9 ユーザー機能9

自動入力選択の設定

- KAIRN はプリアンプ用のリモコンからの命令にのみ反応します
- 1 リモコンのプリアンプ以外のセクションを操作したときに、KAIRN は自動的にそのセクションの入力を選択します。(ただし、OPEN、STOP ボタンは除く) 例) チューナーを聴いているときにリモコンの CDの PLAY ボタンを押すと、KAIRN が自動的に入力ソースとして CDを選択します。

U10 ユーザー機能10 KNEKT システム

リン KNEKT マルチルームシステムで KAIRN をお使い頂くとき

- メインルームで KAIRN をお使い頂くとき、ローカルルームからのリモコンのWHAT/MATRIX ボタンに反応しません
- 1 WHAT/MATRIX ボタンに反応します

U11 ユーザー機能11 AVシステム

サラウンドサウンドプロセッサの出力を KAIRN の AUX/AUX1 入力に接続し、KAIRNのプリアンプ機能をバイパスさせる(スルーアウト)ことができます。

- AUX/AUX1 は通常のライン入力として機能します
- 1 AUX/AUX1 はSSPを表示し、ボリューム等のコントロールが出来なくなります (ボリュームは80で固定されます)

U12 ユーザー機能12

- 再生ソースと録音ソースを単独で操作できます
- 1 録音ソースは再生ソースに連動します

b. 音量補正機能

プリアンプに接続された機器は、異なる出力レベルを持っている可能性があります。例えば、一般的なCDプレーヤーは比較的高い出力レベル（音が大きい）ですが、チューナーには大変低い（音が小さい）ものもあります。

プリアンプ KAIRN は、ソース変更の際、リスニングレベルを一定に保つため、各入力端子に対して、音量差を少なくするよう、設定することができます。

1) 設定

1. 機器をすべてプリアンプに接続し、スイッチをいれ、再生可能な状態にします。
2. リモコンのVOL+、VOL-ボタンを軽く押して下さい。（もしくは本体のVOLUMEボタンを押してボリュームモードを選択して下さい。）
3. リモコンのOボタンを押し続けます。（もしくは再度本体のVOLUMEボタンを、ディスプレイにSETUPと表示されるまで、押し続けて下さい。）
4. よくお聞きになるソースを選択し、音量表示を約50にあわせてください。この音量が基準になります。
5. 順番にソースを選択し、それぞれが基準の音量に近くなるように、ボリュームを調節します。
6. すべてのソースの音量調節が完了したら、もう一度2、3の手順を行って下さい。ディスプレイにOFFと表示されたら設定完了です。

5. お手入れ

KAIRN のお手入れ

ホコリや指紋は固く絞った清潔な布で取り除いてください。
家庭用洗剤類の使用はお控えください。

※ KAIRN は長寿命を前提として設計されており、LINN 販売店によって継続してサービスがお受けになれます。

ヒューズ

ヒューズを交換する際には、正しいヒューズを選択するようにして下さい。
ヒューズを取り外す際には、まず電源を切ってACコードを本体から抜いて下さい。新しいヒューズが破損するようなら、KAIRN本体に欠陥がある可能性があります。リン販売員までご相談下さい。

6. 一般的なシステムのセッティング

ターンテーブル: 最も望ましいのはターンテーブルを小さく、軽く、しっかりした台の上に置くことです。壁つけタイプのラックを利用する際も同様です。

CDプレーヤー: 水平な場所に設置してください。リンCDプレーヤーは相互に外乱を与えないように設計されていますので、KAIRN、KREMLIN、NUMERIKと積み重ねて使用することもできます。

パワーサプライ: 信号ケーブル、ターンテーブルやプリアンプ類と接近させすぎないように設置してください。

アンプ: プリアンプとパワーアンプを接近させすぎるとハムを誘導することがあります。ハムのでない場所に設置してください。

スピーカーシステム:
スピーカーシステムはしっかりとしたスタンドにきちんとマウントして、ぐらつく要素をなくさなければなりません。

接続ケーブル: 機器間の接続には良質の銅製ケーブルを、スピーカーコードには、K20のような4mmの銅製多芯線をご使用下さい。LINN 販売店には、コンポーネントを接続するための良質のケーブル類が用意されています。

接点クリーニング: HI-FI システムにおいては電氣的接点が汚れのないものであることが重要です。時々プラグを抜き差しすることによって効果的に接点クリーニングをすることができます。

※ 接点クリーニングは、電源を切ってから行ってください。

7.仕様

寸法	幅	: 320mm
	奥行き	: 326mm
	高さ	: 80mm
	重量	: 3.9kg

消費電力

ディスプレイoff時	13W (MAX)
ディスプレイon時	16W (MAX)

電源、ヒューズ

AC100V、800mA

[以下の感度はラインアウト0.7Vrms (1kHz 2k Ω 負荷) 出力時]

入力	感度	負荷
MM:	2mVrms	47k Ω /68pF
MC:	130 μ Vrms	150 Ω /4.7nF
テープ/CD/AUX/テープ:	188Vrms	24k Ω

出力

テープ	AUXインプットレベルと同等時	
	出力インピーダンス	1k Ω
	最小負荷	5k Ω
マトリックス	出力インピーダンス	100 Ω
	最小負荷	1k Ω

8. 保証とサービス

アフターサービス

製品に対するお問い合わせは正規販売店に御相談ください。なお、許可なく改造や修理をされた場合には保証書によるお取り扱いができないことがあります。御不明の点は最寄りの LINN 販売店にご相談ください。

- 1 ご利用いただく前に必ずオーナーズマニュアル（本冊子）にて安全な利用方法をご確認下さい。
- 2 後々のご利用のため、マニュアルは必ず捨てずにお持ちください。
- 3 マニュアルには様々な注意点が書かれています。必ずそれらを守ってご使用下さい。
- 4 マニュアルの使用方法に従って製品をご利用下さい。
- 5 水の近く、例えば浴槽、洗面所、洗濯機等の近くに設置しないでください。
- 6 販売店のお勧めするスタンドをご使用下さい。
製品を可動式台に設置してのご利用は注意深く行ってください。急に動かしたり、平らでない面に置いたりすると転倒の原因となります。
- 7 壁面、天井への据えつけは販売店にご相談ください。
- 8 製品には換気が必要です。ベッド、ソファ、などの換気を妨げるものの上への設置、または埋込式設置、キャビネットのなかへの設置などは、製品の換気を妨げますのでなさないでください。
- 9 製品は熱を嫌います。ラジエーター、ヒーター、ストーブなど熱源のそばに設置しないでください。
- 10 マニュアルに記載、もしくは製品に記された電源にのみ接続してください。
- 11 製品には必ずアースをおとりください。また、ケーブルの極性にご注意ください。
- 12 コードは製品につぶされないようご注意下さい。またプラグ、ソケット、製品との接点にはご注意ください。
- 13 製品はオーナーズマニュアル（本冊子）または販売員のお勧めする方法にしたがってクリーニングを行ってください。
- 14 電源ライン付近にアンテナを設置しないでください。

- 15 チューナー/レシーバーに屋外用アンテナを取り付ける際には、急激な電熱変化、静電気の蓄積を防ぐためにアースを取り付ける必要があります。
- 16 長期間ご使用にならない場合は、差し込み口からプラグを抜いてください。
- 17 製品の内部にもものや液体が入らないようご注意ください。
- 18 以下のような症状が発生したら、販売員までご連絡下さい。
 - a) 電源コード、もしくはプラグが破損したとき
 - b) 製品の内部にもものが入った場合
 - c) 製品がぬれた場合
 - d) 正常に作動しなかったり、演奏中に表示が変わったりした場合
 - e) 製品が落下したり、内部に損傷が生じた場合

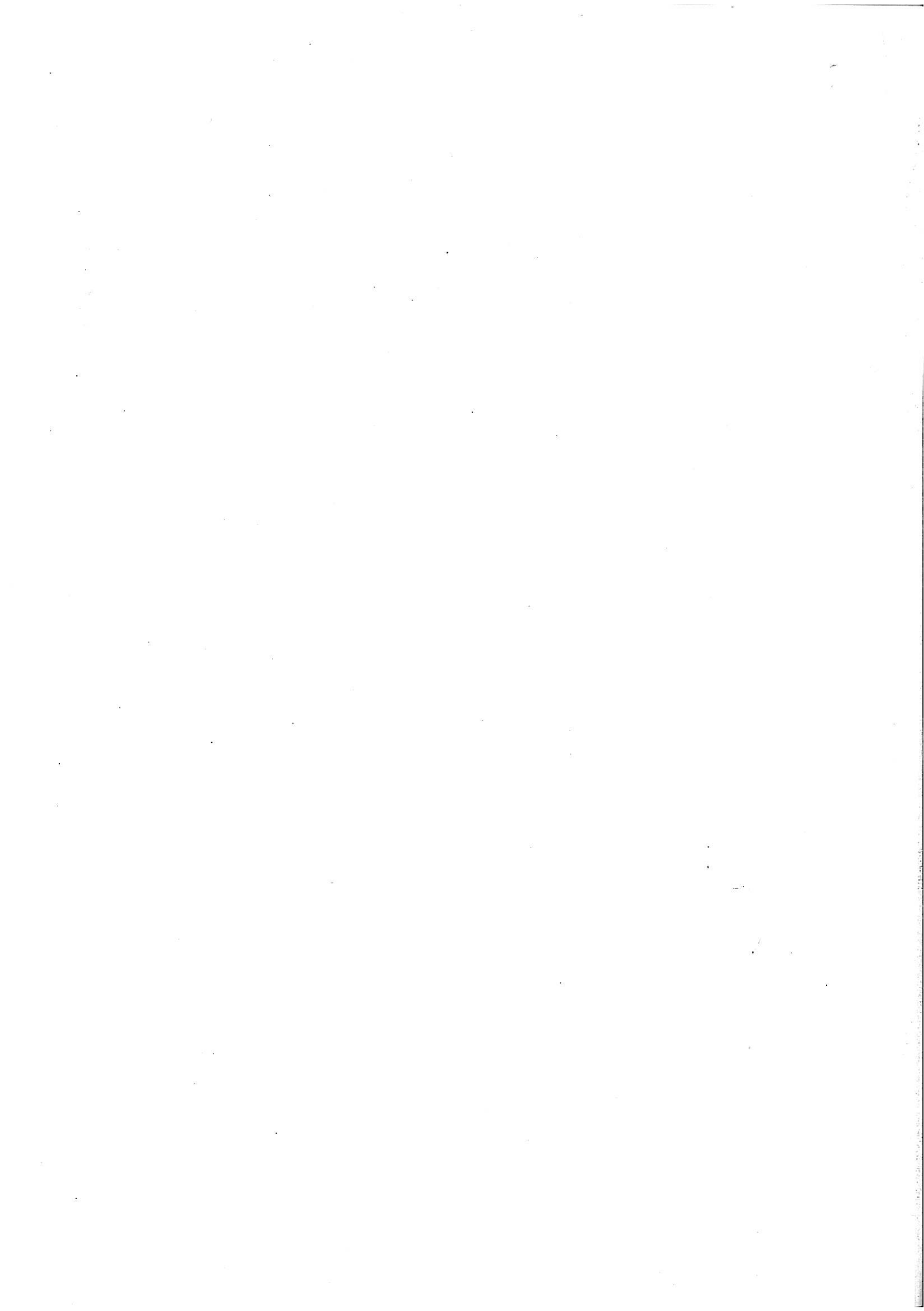
リンの製品は、お買い求めになった国の条件の元に保証をされております。規定の条件に加え、製造段階における瑕疵があった場合には、どの部分でも部品交換いたします。円滑な保証と修理をお約束するためにも、保証登録申込書のご記入とご返送にぜひご協力ください。（ご返送先：株式会社リン ジャパン）

お送りくださった方には、製品についての情報を掲載したリンのニュースレター「THE RECORD」およびレコード、新製品について紹介する「SELEKT」をお送りさせていただきます。

注意

リンの製品の修理は、リン特約店にお任せください。特約店以外の修理や部品交換等をなさいますと、製品保証が出来なくなりますのでご注意ください。お手持ちの製品について御不審な点がございましたら、最寄りのリン販売店までご連絡下さい。

- * 領収証は御購入日確認のため必要です。大切にお持ちください。
- * 修理のための運搬時の破損はお客様御負担とさせていただきますのでご注意ください。



総輸入代理店

株式会社 リン ジャパン

フリーダイヤル:0120-126173